
2007年度冬学期 第2回 物性セミナー

「液中や真空中の表面を針でなぞる」

講師 川勝 英樹 氏 (東京大学生産技術研究所)

日時 2007年11月30日(金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

走査型力顕微鏡は、1987年頃発明された針式顕微鏡で、針を用いて試料表面をなぞることによって表面の情報を得ることができる。最近では、原子一個を力学的に動かしたり、水中の表面に水分子が構造を為している様子を針でなぞって見る事が可能になっている。このセミナーでは、簡単な実験を交えて、走査型力顕微鏡の作動原理を紹介し、次に、様々な装置、それによって解き明かされる世界を紹介する。

○今後の予定

- 12月4日¹ 安立 裕人 氏 (スイス連邦工科大学チューリッヒ校)
「URu₂Si₂の超伝導混合状態で見られる奇妙な熱伝導率」
- 12月7日 鈴木 正 氏 (青山学院, 理工)
「量子アニーリングの最近の進展」
- 12月21日 佐々木 成朗 氏 (成蹊大理工)
「摩擦力顕微鏡が見るナノスケール摩擦」
- 1月18日 大熊 哲 氏 (東工大極低温物性研究センター)
「乱れた超伝導体の極低温渦糸状態とダイナミクス」
- 1月25日 齊藤 圭司 氏 (東京大学理学研究科物理)
TBA
- 2月1日 橋本 幸士 氏 (理研)
「D ブレーン：超弦理論の高次元物体が描く世界像」

○物性セミナーのページ

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人：加藤雄介
福島孝治
簗口友紀
堺 和光

¹曜日が通常と異なります!